

古文書を読む会学習記録

作成日 平成30年10月14日

開催日	平成30年10月11日	時 間	10:00~12:00
場 所	区民活動センター	出席人数	16名
講 師	真田 雅行氏	作成者	鈴木 祥代
テーマ	第一学習 野島浦 鈴木家文書⑩		
概要	<p>○尾州様 鯛網差障書付写（前回学習の続き）</p> <p>寛政の時、本郷村で鯛網漁を始めたが武蔵、相模、上総内海附浦々より諸漁の妨げになると勘定奉行に申し立てがあり、吟味したところ鯛網漁は皆止となった。その後享和の時、本郷村の者が水戸様御用として鯛網漁を始めたがこれも皆止となった。その後も所々でご名目を借り鯛網漁を始める所もあったが浦々申し合わせて止めることとなった。しかしその後市ヶ谷御屋形様御役所を通じ尾州館より鯛御入用との打診もあった。金杉外七ヶ浦としては鯛網は海底を曳荒し魚を取り尽くしてしまう。大き目の網にしても海底を騒がし魚は驚き遠海に逃げてしまい漁師の死活問題になるとお答えした。</p> <p>金杉浦外七ヶ浦において鯛網四張を認めると仰付けられ、一張は金杉浦に下される予定で、それで差障ないかとのことであるが、小前漁師共からはかねて難洪の申出もあり、一旦帰浦の上相談したいとお願いしご了解をいただいた。</p> <p>○差上申手形之事</p> <p>一、 相模国東浦賀清助船水主四人乗の船が野嶋浦より東浦賀まで空船で登り、酒六十樽を積んで下ります。今後水主とのもめごともあるかと思いますが私名主がよく説明しますので浦賀御番所では間違いなくお通し下さる様お願い致します。</p> <p>一、 武蔵国室木村喜兵衛船水主三人乗の船が野嶋浦より東浦賀まで大豆三十表・酒十樽を積んで登ります。今後水主とのもめごともあるかと思いますが、私名主がよく説明しますので浦賀御番所では間違いなくお通し下さる様お願い致します。</p> <p>○往来一札之事</p> <p>武州久良岐郡金沢野嶋浦百姓市助の妹「かく」が心願にて廻国しますので国々川々船の渡しをよろしくお願い致します。もし病死等の時はその場所の御作法次第で取り計らって下さい。御沙汰には及びません。</p> <p>国々各名主様 武州久良岐郡金沢野嶋浦 名主 吉兵衛</p>		
次回予定	平成30年10月25日 10:00~12:00 於:金沢区民活動センターAB会議室 第二学習 艱難実録(箱館戦争)(中)⑭		